

## 「諏訪湖の日の制定の検討」WGの検討結果報告

### 1 経過

諏訪湖創生ビジョン（H30. 3 策定）に「諏訪湖の水環境保全等に対する住民意識の向上のため『諏訪湖の日』の制定について検討します」と位置付けたことから、「諏訪湖の日制定検討ワーキンググループ」を立ち上げ、制定について検討。

#### 【参考：背景（諏訪湖創生ビジョンより）】

- ・かつての治水を目的とした護岸整備等により、親水性が低くなり、湖と流域住民との関係が疎遠になった時期があった。
- ・アオコが発生するなど諏訪湖の水質が悪化したときには、住民の諏訪湖に対する関心が非常に高くなったが、水質が改善傾向に向かうにつれ、住民の諏訪湖浄化に対する関心が下がっている。
- ・流域住民、県民、観光客の諏訪湖への関心を高め、諏訪湖の恵みをより多くの人たちが享受できるように、諏訪湖創生に対する気運を醸成していくことが求められている。

### 2 ワーキンググループでの検討状況

○メンバー 13名 別添名簿のとおり

○ワーキンググループ開催状況

回	日時	参加者
第1回	H30. 9. 28 13:30～15:40	7名
第2回	H30. 11. 14 10:00～12:00	10名
第3回	H30. 12. 26 10:00～12:00	13名
第4回	H31. 2. 12 13:30～15:40	11名
第5回	R元. 5. 13 9:00～11:10	9名

○諏訪湖創生ビジョン推進会議構成員へのアンケート調査

実施期間：平成31年3月29日（金）から4月12日（金）まで

対象者：諏訪湖創生ビジョン推進会議 全構成員（62団体・個人）

回答数：33（うち団体数 26）

質問項目：制定の賛否、期日、キャンペーン期間実施の賛否・時期、取組内容等

集計結果：資料2-2のとおり

### 3 今後の進め方（案）

第5回ワーキンググループで決定した以下の「案」を第3回推進会議に諮る。承認された場合は、今年度からの取組を検討していく。

## 4 ワーキンググループ「案」

### 1 制定の有無

#### ➤ 「諏訪湖の日」を制定する

##### 【WGの意見】

WGでは「そもそも諏訪湖の日の制定は必要なのか」、「わざわざ諏訪湖への住民の関心を高めることが必要なのか。」という議論からスタートしました。「日を制定しても浄化や関心の高まりに効果があるかは疑問」「新たな取組を行うことは負担」「イベントと条件とした日の制定なら不要」等の意見もあった中、

- ・諏訪湖があって当たり前の風景になってしまっているが、放っておけばきれいなまま残っているわけではなく、手を入れていかなければいけない。
- ・「前よりは」水質も改善され、見た目もきれいになってきてはいるが、まだ道半ばであり、決してストップではない。
- ・今後も諏訪湖の環境を改善し、後世に残していくためには、特定の人々の努力だけではだめである。湖周、岳麓を含めた大勢の人たちを巻き込み、諏訪湖に目を向けさせ、住民の諏訪湖に対する関心を高める必要があり、そのためにはきっかけが必要。
- ・日の制定により、まずは一歩進めてみる大切であるが、制定に反対の意見も踏まえ、制定して終わりではなく、いかに「意義ある日」にできるかを今後も検討していく。
- ・週間、月間とあいまいにするより、明確に「諏訪湖の日」を定めたほうが良い。

といった意見が出され、結論として「諏訪湖の日」を制定することとしました。

構成員へのアンケート結果は、制定については「賛成」及び「条件付きで賛成」の意見が82%を占めました。

### 2 制定の趣旨・目的

#### ➤ 諏訪地域の宝である諏訪湖に感謝し、諏訪湖の恵み<sup>※1</sup>を将来にわたり持続的に享受していくため、諏訪湖を守り<sup>※2</sup>、活かしていく<sup>※3</sup>機運の醸成の機会として、諏訪湖の日を定める。

※1 恵み…自然、景観 など

※2 守り…浄化、美化、利水浚渫 など

※3 活かす…観光、レジャー、学び、健康づくり など

##### 【WGの意見】

どのような趣旨・目的で日を制定するかについては、メンバーそれぞれの立場や想いから、幅広い意見が出されました。

##### ➤ 諏訪湖を後世に残すため→どのような諏訪湖として残したいか

【きれいな諏訪湖】【魅力ある観光地】【いつまでも利活用できる】【学ぶ対象】【健康づくりの場】

##### ➤ 賑わいづくり、地域の活性化のため

##### ➤ 諏訪湖で楽しむため

・楽しむことを目的とする過程で、諏訪湖をきれいにしたり、維持することに関心が出てくる

##### ➤ 地域住民にアイデンティティ(地域への誇り)を持って欲しい

- ・子ども達と諏訪湖の距離を縮めたい
- ・諏訪湖を好きになってもらいたい

➤前掲の目的のための「動機づけ」になればいい

これらの意見を踏まえ、あらためて諏訪湖の恵みに感謝し、きれいな湖、いつまでも利活用できる湖、魅力ある観光地、健康づくりの場等として「後世に諏訪湖を残す」ため、地域住民が諏訪湖に目を向ける機会とすることを目指し、決定しました。

### 3 名称

#### ➤「諏訪湖の日」とする

##### 【WGの意見】

名称については、「諏訪湖の日が分かりやすい」、「諏訪圏全域で関心を高めるためには、日の名称ではなく、取組内容で工夫すべき」との意見が出されました。

### 4 取組主体

#### ➤「諏訪湖創生ビジョン推進会議」とする

##### 【WGの意見】

日の制定の趣旨・目的を踏まえ、住民等の関心をより高め、継続性のある取組を行うにはどうすべきかという観点から議論しました。候補案として、「諏訪湖創生ビジョン推進会議」「長野県」「民間」などの意見が出されましたが、

- ・推進会議は、県、市町村、民間団体、企業など、官民協働の組織であり、各々の強みを活かした取組が期待できる。
- ・日の制定は「諏訪湖創生ビジョン推進会議」における検討事項

などの意見により「諏訪湖創生ビジョン推進会議」としました。

### 5 期 日

#### ➤「10月1日」とし、その前後の概ね9月・10月を取組期間とする。

- ・10月1日は諏訪湖流域下水道の一部供用を開始し、諏訪湖浄化に向けて第一歩を踏み出した記念すべき日
- ・暑さやヒシ繁茂、花火等の行事が落ち着き、湖辺面で活動しやすく、一斉清掃も例年実施されている。また、諏訪湖周でのイベントが多く予定され、諏訪湖に関心がない層や観光客への発信に最適な時期
- ・当日だけでなく、前後の概ね9月から10月に行う、趣旨に沿った取組を「諏訪湖の日」関連行事として認定し、パッケージで発信

## 【WGの意見】

「諏訪湖の日」をいつにすべきかについては、諏訪湖が四季折々に、その趣を異にしながら多くの人々を魅了していることなどから、幅広い意見がだされました。構成員へのアンケート結果では「特に日にはこだわらない」という意見が最も多く、時期については、主に5月から10月までの間で意見が分かれました。

アンケート結果を踏まえた議論で、期日の設定に当たっては

- ・ 水辺で活動しやすい気温であり、ヒンやアオコの繁茂が少ない時期であること
- ・ 花火などの行事がなく、落ち着いた中で諏訪湖を考えられる環境であること
- ・ カヌーなどのアクティビティがしやすい、水量が一定程度保たれている時期であること

といった視点を重視すべきと意見が出され、具体的な時期としては、5月、若しくは9月～10月との2つの案が出されました。

そのうち、「諏訪湖の日」の趣旨・目的を踏まえ、観光客や、普段諏訪湖に目を向けることがない人にも関心を持ってもらうには、諏訪湖一周ウォークや諏訪湖マラソンなど行事の多い9月から10月のほうが情報発信しやすいとの観点から、時期を10月とすることとし、具体的な期日については、諏訪湖浄化に向けた記念すべき第一歩とを踏み出した諏訪湖流域下水道の一部供用開始の日であり、構成員アンケートでも提案のあった「10月1日」とすることとしました。

キャンペーン期間については、イベントありきでなく、各団体の可能な範囲で自発的に行っていくのが望ましいとの意見を踏まえ、「〇〇月間」と明確に区切らず、概ね9月～10月の間で、趣旨に沿う取組を、認定行事として発信していくこととしました。

## 6 取組の内容

### ➤「一人でも多くの人々が、諏訪湖に感謝し、将来にわたり守り、活かしていくための幅広い取組」を実施

## 【WGの意見】

WGでの議論や、構成員へのアンケートでも取組の内容については幅広い意見が出されました。それらを踏まえ、取組の趣旨を上記のとおり定義づけし、様々な主体による、趣旨に沿った行事を関連イベントとして集中的に情報発信をしていくこととしました。

### 【WGやアンケートで出された具体的な取組の例】

項目	具体的な取組
➤ 諏訪湖の浄化・美化活動	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 諏訪湖周3市町だけでなく岳麓の河川清掃も合わせた大規模な美化活動</li><li>・ ごみの無い諏訪湖 WG の企画と連動して、水辺のごみ調査を実施</li><li>・ 家庭等でごみを拾いながら、一定距離をウォーキングするなど美化活動と健康・観光を組み合わせた取組</li><li>・ スポーツごみ拾い</li><li>・ 地域発元気づくり支援金活用事業（藻刈り船によるヒシ刈取り等）</li></ul>
➤ 子どもが楽しめる・学べる行事	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 魚の放流</li><li>・ 体験学習（藻刈り体験等）</li><li>・ カヤック・カヌー体験</li><li>・ 小中学生対象の観察会、学習会</li></ul>
➤ 新たな大規模イベント	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 国際的なシンポジウム</li><li>・ カヤック・カヌーなどの大パレード</li></ul>
➤ その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 湖畔でのミュージックフェス</li><li>・ 水辺空間を活用したカフェ、バーベキューなど</li><li>・ 諏訪湖に感謝する趣旨の取組</li><li>・ 岳麓の人たちにも関心をもってもらえるような取組</li></ul>

## 【「諏訪湖の日」の制定の検討】ワーキンググループメンバー

団 体 名	氏 名
個人	上原 幸人
諏訪湖周水路復活漕ぎあるきプロジェクト	百瀬 篤
諏訪湖八ヶ岳自転車復活推進協議会	小口 良平
諏訪市セーリング協会	横山 真
諏訪湖ロータリークラブ	森山 広
諏訪広域連合	平出 昌寛
諏訪広域連合	田中 保輔
諏訪市企画政策課	西澤 菜都美
岡谷市企画課	味澤 勝一
下諏訪町総務課企画係	高木 浩
諏訪地域振興局企画振興課	小口 秀昭
諏訪地域振興局企画振興課	野本 和弘
諏訪地域振興局企画振興課	伊東 笑子